

# 令和7年度第1回始良市地域公共交通会議 議事録

記録者	濱田 輝洋
-----	-------

日 時	令和8年1月 16 日(金)	時 間	15 時 00 分～16 時 20 分
場 所	始良市役所本館3階 大会議室		
出席者	<p><b>委員</b>(出席者数 24 人、欠席者数 5 人)                  谷口委員、中野委員【代理出席】、竹下委員、田中委員、永田委員【代理出席】、上川委員、                  本山委員【代理出席】、山口重幸委員、山口俊則委員、若松委員、永野委員、小城委員、野                  口委員、古市委員、長尾委員、鈴木委員、宮崎委員、猪俣委員、松岡委員、前園委員、若                  松委員、享保委員</p> <p><b>事務局</b>                  地域政策課</p>		
議 長	会長 湯元 敏浩		
資 料	事前配布資料		

会議内容	
(会次第)	
1 開会	
2 市長挨拶	
3 議事	
<b>【報告事項】</b>	
①始良市コミュニティバス利用料無料月間及び市制 15 周年あいら乗っ得まつり結果報告について【資 料1】	
事務局より報告。	
⇒質疑なし。了承された。	
②コミュニティバスの迂回路運行について【資料2】	
事務局より報告。	
⇒質疑なし。了承された。	

③始良市地域公共交通計画の令和6年度事業評価について【資料3】

事務局より報告。

⇒質疑なし。了承された。

④令和7年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付申請について【資料4】

事務局より報告。

⇒質疑なし。了承された。

【協議事項】

①令和7年度地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)に関する事業評価について【資料5】

事務局より、協議事項①について資料5に沿って説明し、承認を求めた。

(質問:谷口委員)

事業評価でCとなっている系統について、今後の改善点として、路線や区域の見直し等の検討が行われている状況であれば教えて欲しい。

(回答:事務局)

ふるさとバス(松原地区経由)については、市民の声を聴きながら、路線の改善をしていく予定。久末地区高牧集落予約型乗合タクシーについては、ここ数年利用者がいない路線である。そのため、次回協議会の協議事項として、大山地区予約型乗合タクシーとの統合を検討している。

⇒承認された。

(議長)

会議後、令和7年度地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統)に関する事業評価に関する軽微な変更があった場合、会長判断で変更の決定を行ってよろしいか。

⇒異議なし。承認された。

②重富地区循環バスにおける路線等の変更について【資料6】

事務局より、協議事項②について資料6に沿って説明し、承認を求めた。

⇒質疑なし。承認された。

③加治木地区循環バスにおける路線等の変更について【資料7】

事務局より、協議事項③について資料7に沿って説明し、承認を求めた。

⇒質疑なし。承認された。

④蒲生地区巡回バス(米丸・柊野線、蒲生・山田・帖佐線及びくすの湯・久末線)における時刻表の変更について【資料8】

事務局より、協議事項④について資料8に沿って説明し、承認を求めた。

⇒質疑なし。承認された。

⑤3庁舎間巡回バスにおける路線の変更について【資料9】

事務局より、協議事項⑤について資料9に沿って説明し、承認を求めた。

⇒質疑なし。承認された。

⑥蒲生地区(赤仁田)における交通モードの変更について【資料10】

事務局より、協議事項⑥について資料10に沿って説明し、承認を求めた。

(質問:佐藤委員)

赤仁田地区と北山校区の時刻表が同じであるが、赤仁田地区で利用者があった場合に対応が難しいため、赤仁田地区の時間設定を20分程度調整して欲しい。

(回答:事務局)

ご提案いただいた内容で、時刻表の修正を行う。

⇒承認された。

⑦地域公共交通計画変更届及び始良市地域公共交通計画の修正について【資料11】

事務局より、協議事項⑦について資料11に沿って説明し、承認を求めた。

⇒質疑なし。承認された。

(議長)

会議後、地域公共交通計画変更届及び始良市地域公共交通計画の修正に関する軽微な変更があった場合、会長判断で変更の決定を行ってよろしいか。

⇒異議なし。承認された。

⑧令和8年度始良市地域公共交通会議予算(案)について【資料12】

⑨令和8年度始良市地域公共交通会議推進計画(案)及び始良市地域公共交通会議事業計画(案)について【資料13】

事務局より、協議事項⑧、⑨について資料12、資料13に沿って一括で説明し、承認を求めた。

⇒質疑なし。承認された。

⑩第2次始良市地域公共交通計画策定業務委託の業者選定について【資料14】

事務局より、協議事項⑩について資料14に沿って説明し、承認を求めた。

⇒質疑なし。承認された。

#### 4 その他

(南国交通:上川委員)

始良地区の乗務員の状況についての共有をしたい。

乗務員不足の中、乗務員確保に向けた企業説明会の開催や大型二種免許の取得支援制度、就職支援制度、ジョブリターン制度を設けて、採用活動に努めている。また、労働条件の変更や、賃金の昇給、休日日数の見直し等の待遇改善を図っている。しかしながら、満足いく乗務員の数を確保できていない状況である。そのような中でも、可能な限り公共交通を維持したいと考えているので、協力をよろしく願いたい。

なお、現在始良市を担当している乗務員が20名ほどいるが、乗務員の高齢化が進んでおり、そのうち8名が70歳以上となっている。弊社は72歳まで雇用し、個人の体調を見ながら半年延長を続け、75歳の誕生日まで勤めてもらっている。今後、70歳以上の方が引退する際は、厳しい状況となるため、次の担い手が見つからない場合は、バスの運行継続に支障が出ることが想定されるという現状をあらかじめ、共有して欲しい。

(鹿児島交通:本山委員)

社全体のバスの運転手の平均年齢は60歳を超えた。今後 3 年で、定年退職者が50名、5年で75名いる。5年もつどうか分からない状況である。

重富循環バスは国分営業所管轄であったが、国分営業所の人員不足により鹿児島営業所管轄に変更した。それぐらい厳しい状況で運行をしている状況である。そのため、今後何年コミュニティバスが走れるか、皆さんと協力しながら図っていきたいと考えている。

(鹿児島運輸支局:谷口委員)

最近の国の動向について、2つのテーマで提供したい。

1つめは「交通空白」解消に向けた国の動きについて。

全国の交通空白の解消に向け、力を入れ取り組んでいくということで交通空白解消本部が設置されている。具体的には「地域の足」と「観光の足」の対策を強力に進めて行くために令和6年7月に大臣を本部長として立ち上げた。現在、次年度の取り組み方針を決めるため、全市町村宛に交通空白に関する実態の調査を実施する予定となっている。また、併せて、交通空白解消に向け、全ての運輸局、全ての運輸支局で伴奏支援を行っている状況である。加えて、公共交通審議会において、6つのテーマで取りまとめが行われており、今後、それに基づき国交省の方で法律の改正や制度設計を行っていく予定である。

2つ目は、令和7年度補正予算と令和8年度予算の概算要求について。

令和7年度補正予算については 352 億円が計上されており、6年度の補正では 326 億円であったため、昨年度以上に交通課題の解決に向けた取り組みを支援する予算を確保している。施策の内容は、集中対策期間における「交通空白」解消や地域公共交通計画・協議会のアップデート支援など様々な支援が用意されている。

令和8年度概算要求では 269 億円を要求しており、共同化・協業化の体制強化のため等にさまざまな支援が盛り込まれている。

今後も、協議会を通じて支援メニューについては適宜情報共有をさせていただく。

(事務局)

現在の委員の任期は令和8年3月31日までとなっている。来年以降の委員の委嘱については、後日文書を送ることとなるので、その際は対応をよろしくお願ひしたい。

4 閉会